

第9次南極観測隊にインタビュー



やまもと りいち
山本 利一さん

プロフィール

1936 年群馬県生まれ。

観測隊参加時、小松製作所：川崎工場・工作部勤務。機械担当。

【極点旅行隊員】

第9次隊南極観測隊に参加したきっかけを教えてください。
また、南極ではどんなお仕事をしたのですか？

昭38年3月頃、雪上車の試作機を川崎工場で製造しており、北海道・名寄部隊に送り、テスト走行を行っていた。私も4日間の出張を命じられエンジニアとして滞在し、走行点検等を行った。

無事テストを終え、一時帰社した際、私の元に南極行きの話が浮上し、あらためてエンジニアとして指名を受けて行くことになった。

南極での主な仕事は、雪上車の不具合の整備でした。常に全てが整った環境でなかった為、故障したときは直したものを使い回す（いわゆるリサイクル）といったもので、苦労の日々でした。

極点旅行について、印象に残っていることはなんですか？

私は、機械担当として旅行隊員に選出されました。約5か月に渡り、総工程 5,182km の走行でした。印象に残っていることは、機械担当として選出された為、毎日の走行ばかり気になり、頭から離れることはありませんでした。無事、目的地（1日の走行予定）まで到達出来た時は、ホッとしました。



【1968 年 12 月 19 日 南極点にて】